

# 北部保健所(宇佐・高田地区)の感染症情報

令和4年 第47週 (11月21日～11月27日)

11月

## ○新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

全国一律での全数届での見直しに伴い、令和4年9月26日から新型コロナウイルス感染症に感染した方でも、65歳未満で重症化リスクの低い方などは、発生届の対象外となりました。このような発生届の対象外になった方でも、安心して自宅療養などができるように、大分県では「健康フォローアップセンター」を開設しました。オンラインによる健康観察や症状悪化時の電話相談などを行っていますので、医療機関の受診等で陽性が判明した場合は、健康フォローアップセンターにご登録ください。詳しくは大分県のホームページ「新型コロナウイルスに関するお知らせ」を御覧ください。  
(<https://www.pref.oita.jp/site/covid19-oita/>)



## ○手足口病の報告が増加しています。

原因はエンテロウイルスとコクサッキーウイルスで、複数の種類があるので何度もかかる可能性もあります。患者のほとんどが小児ですが、まれに大人にも感染します。潜伏期間は3～6日で、発熱と口腔粘膜や手のひら、足の裏、足の甲などに痛みを伴う水疱ができます。水疱は、かさぶたにならずに治る場合が多く、1週間程度でなくなります。口内炎がひどくなり、食事や飲みものを受けつけなくなると、脱水症状を起こすことがあります。また、まれに脳炎、髄膜炎を伴って重症化することもありますので注意が必要です。最も大切なのは、手を洗うことです。特に乳幼児の集団施設では、排便後・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。



## ○RSウイルス感染症の報告が増加しています。

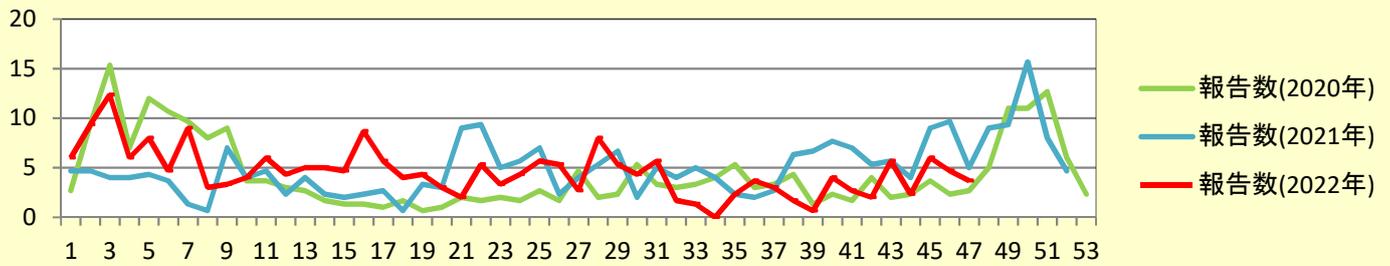
大分県ではRSウイルス感染症が流行期に入っています。RSウイルスは、乳児急性気道感染症の主な原因ウイルスです。接触・飛沫を介して気道に感染し、2～5日の潜伏期の後、発熱・鼻水・咳などで発症し通常1～2週間で軽快します。しかし2才以下の乳幼児では、しばしば上気道炎から下気道炎に進展して細気管支炎、肺炎を発症することもあります。例年冬にピークがみられ、夏季は少ない状態が続いていましたが、2011年以降、7月頃から報告数の増加傾向がみられていますので注意が必要です。



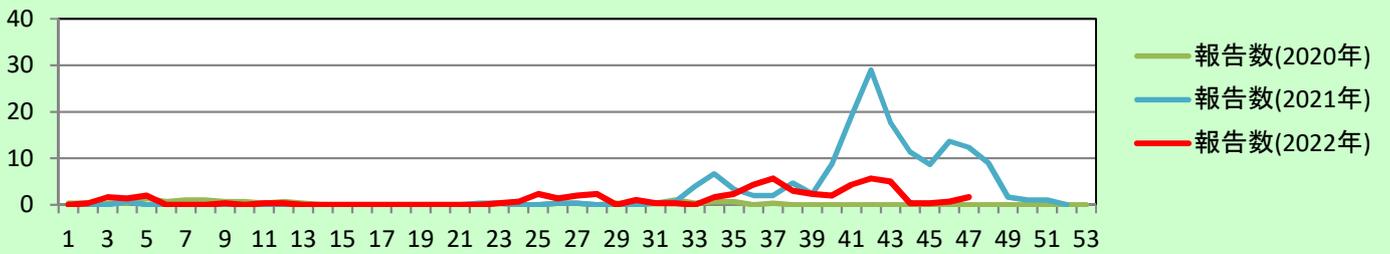
|           | インフルエンザ |    |    | RSウイルス | 咽頭結膜熱(プール熱) | A群溶血性球菌咽頭炎 | 感染性胃腸炎 | 水痘(みずぼうそう) | 手足口病 | 伝染性紅斑(リンゴ病) | 突発性発疹 | ヘルパンギーナ | 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) | 肺炎マイコプラズマ | 麻疹(全数) |
|-----------|---------|----|----|--------|-------------|------------|--------|------------|------|-------------|-------|---------|-----------------|-----------|--------|
|           | A型      | B型 | 不明 |        |             |            |        |            |      |             |       |         |                 |           |        |
| 0歳        |         |    |    | 0.33   |             |            |        |            |      |             |       |         |                 |           |        |
| 1～3歳      |         |    |    | 0.33   |             |            | 2.33   |            | 1.67 |             | 0.33  |         |                 |           |        |
| 4～6歳      |         |    |    |        |             |            | 1.00   |            |      |             |       | 0.33    |                 |           |        |
| 7～9歳      |         |    |    |        |             |            | 0.33   |            |      |             |       |         |                 |           |        |
| 10～14歳    |         |    |    |        |             |            |        |            |      |             |       |         |                 |           |        |
| 15～19歳    |         |    |    |        |             |            |        |            |      |             |       |         |                 |           |        |
| 20歳以上     |         |    |    |        |             |            |        |            |      |             |       |         |                 |           |        |
| 計         |         |    |    | 0.67   |             |            | 3.67   |            | 1.67 |             | 0.33  | 0.33    |                 |           |        |
| 70歳以上(再掲) |         |    |    |        |             |            |        |            |      |             |       |         |                 |           |        |
| 前週        |         |    |    | 0.33   |             |            | 4.67   |            | 0.67 |             |       | 0.33    |                 |           |        |

※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上(定点医療機関数 インフルエンザ定点5、小児科定点3)  
※端数処理のため、合計と年齢ごとの数値は一致しないことがあります。

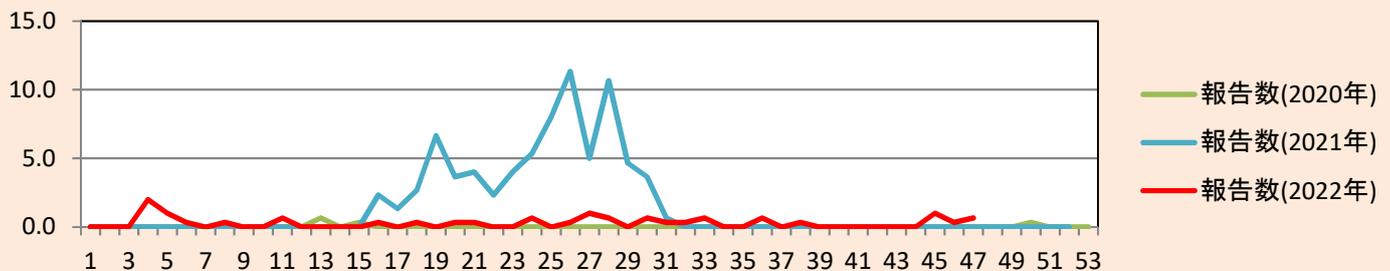
### 定点当たり報告数 感染性胃腸炎



### 定点当たり報告数 手足口病



### 定点当たり報告数 RSウイルス感染症



疾患ごとの警報・注意報の基準値は以下のとおりです。

| 症状            | 流行発生警報 |       | 流行発生注意報 |
|---------------|--------|-------|---------|
|               | 開始基準値  | 終息基準値 | 基準値     |
| インフルエンザ       | 30     | 10    | 10      |
| 咽頭結膜熱         | 3      | 1     | -       |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 8      | 4     | -       |
| 感染性胃腸炎        | 20     | 12    | -       |
| 水痘            | 2      | 1     | 1       |
| 手足口病          | 5      | 2     | -       |
| 伝染性紅斑         | 2      | 1     | -       |
| ヘルパンギーナ       | 6      | 2     | -       |
| 流行性耳下腺炎       | 6      | 2     | 3       |
| 急性出血性結膜炎      | 1      | 0.1   | -       |
| 流行性角結膜炎       | 8      | 4     | -       |

- ・「警報」: 大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを指します。
- ・「注意報」: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

お問い合わせ

北部保健所  
豊後高田保健部

0979-22-2210  
0978-22-3165

[a12089@pref.oita.lg.jp](mailto:a12089@pref.oita.lg.jp)